

施策32

世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます

めざす姿

世界の主要都市として、世界規模での交流が活発に行われている

現状と課題

現 状

- ・名古屋高速道路の全線開通や、新東名・名古屋環状2号線の整備など、広域交通基盤の整備がすすみつつあります。また、平成39年度にはリニア中央新幹線の東京－名古屋間の開業が予定されています。
- ・都心部では、名古屋駅周辺地区において、高度な中枢管理機能の集積がすすみ、民間再開発等による活性化とともに、地域のまちづくり推進団体の組織化や、エリアマネジメントに向けた取り組みがすすめられています。栄地区をはじめ都心部の^{かいわい}界隈においても、地域が中心となったまちづくり活動が活発化しています。
- ・名古屋港は、世界の約160の国や地域と貿易で結ばれており、年間の総取扱貨物量や貿易額が国内第一位であるなど、日本のゲートウェイとして大きな役割を果たしています。

課 題

- ・リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋大都市圏の中枢都市として、圏域をけん引する国際競争力を有する都心部を形成するとともに、国内外との広域交流都市として、地域間連携や交流機能を高める交通基盤の整備をすすめ、国際的・広域的な拠点機能・交流機能を高めることが必要です。
- ・名古屋駅周辺地区では、圏域の玄関口にふさわしいまちづくりをすすめるとともに、わかりやすく乗り換え利便性の高いターミナル駅を形成することが一層重要となります。
- ・栄地区では、世界都市にふさわしい商業・文化・娯楽の集積を^い活かした交流拠点の形成、豊かな公共空間を活用したにぎわいと憩いの提供、多様で魅力ある^{かいわい}界隈の創出をはかる必要があります。
- ・世界と中部を結ぶ玄関となる名古屋港や中部国際空港は、地域の国際競争力向上に向け、一層の機能強化や需要拡大に取り組むことが必要です。

●名古屋駅周辺地区



●栄地区



施策の展開

1 主要都市にふさわしい都心のまちづくりの推進

リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋駅周辺地区、栄地区を2核一体とする都心部全体において、名古屋大都市圏の中枢都市にふさわしい、高い国際競争力を発揮する都心部の形成をめざします。

特に、名古屋駅周辺地区においては、ターミナル機能の強化や象徴的な都市空間の形成をはかり、国際的・広域的な拠点の形成をめざします。栄地区においては、世界に誇れるシンボル空間の形成をめざした公共空間の再生、民間再開発の促進、^{かいわい}界隈性の充実によるまちづくりを、多様な主体と連携しながらすすめます。

2 中部国際空港の利用促進および機能強化の推進

中部国際空港については、国際拠点空港として航空ネットワークの維持・充実をはかるとともに、空港機能の強化（完全24時間化）の実現を推進するため、さらなる航空需要の拡大に取り組みます。

3 名古屋港の整備促進

わが国の経済と産業の成長をけん引する「国際産業ハブ港」の実現に向け、コンテナ物流機能や完成車取扱機能の強化をはかるとともに、国際バルク戦略港湾施策を促進します。

4 広域交通ネットワークの早期形成

日本のゲートウェイである名古屋港や中部国際空港へのアクセスを向上させ、名古屋大都市圏の発展を支える高速道路ネットワークの早期形成および利便性の向上をはかります。

成果指標				
	指 標	現状値	目標値 30年度	目標値 40年度
1	世界の主要都市として交流が活発に行われていると思う市民の割合	27.9% (25年度)	35%	55%
2	中部国際空港の国際線旅客便就航都市数	27都市 (25年度)	30都市	33都市
3	名古屋港の総取扱貨物量	208百万トン (25年)	230百万トン (30年)	245百万トン (40年)

関連する個別計画

- ◆都市計画マスタープラン ◆都心部将来構想 ◆栄地区グランドビジョン
- ◆名古屋駅周辺まちづくり構想

施策を推進する事業

1 主要都市にふさわしい都心のまちづくりの推進

事業名	事業概要	現況 (㉔時点の状況)	計画目標 〔㉔～㉔の事業量等〕	所管局
リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅周辺のまちづくりの推進	名古屋駅周辺まちづくり構想を策定し、乗り換え利便性向上など名古屋駅のターミナル機能の強化をはかるとともに駅周辺の新たなまちづくりを推進	構想の素案の公表	構想の策定、計画の具体化、事業の推進	住宅都市局
栄地区まちづくりプロジェクトの推進	栄地区において、多様な主体との連携のもと、にぎわいに満ちた空間づくりをすすめる栄地区まちづくりプロジェクトを推進	栄地区グランドビジョン策定・公表 公共空間の再生 事業化方策の検討 官民連携手法検討	栄地区グランドビジョンで示す前期事業完了 公共空間の再生 久屋大通(北・テレビ塔エリア)の事業完了 久屋大通(南エリア)の事業着手	住宅都市局 市民経済局
		民間再開発の促進 事業化方策の検討	民間再開発の促進 公有地再開発(栄角地等)の事業完了	
		かいわい 界隈性の充実 事業化方策の検討	かいわい 界隈性の充実 エリアマネジメントの一部実施	
都心部における戦略的まちづくりの推進	伏見地区・大須地区などをはじめとする都心界隈において、まちづくり構想を策定し、民間再開発の促進をはかるとともに、エリアマネジメントの推進など、多様な主体による地域資源を活かした地域まちづくりを推進	地域まちづくりの推進	地域まちづくりの推進 まちづくり構想の策定・推進	住宅都市局

名駅南地区の整備推進	名古屋駅周辺地区の国際競争力の向上をはかるため、土地の高度利用と、土地利用の転換を検討するとともに、笹島線の整備をすすめ、民間再開発を促進	現況調査	事業計画策定、事業着手	住宅都市局
民間再開発の促進	都市再生特別地区などの活用や事業費補助の実施などにより、民間再開発を促進	納屋橋東地区 都市計画決定 栄一丁目6番地区 環境影響評価手続 民間再開発の事業化促進	納屋橋東地区 工事完了・供用開始 栄一丁目6番地区 工事完了・供用開始 民間再開発の事業化促進および事業の実施	住宅都市局
ささしまライブ24地区の整備推進	民間による建築物整備とあわせて、国際歓迎・交流拠点の形成をめざした官民連携によるまちづくりを推進するため、土地地区画整理事業による道路・公園などの都市基盤整備や親水空間の整備を推進	土地地区画整理事業 都市計画道路・区画道路の整備 アンダーパスの整備 建物等移転 民間建築物の整備促進	土地地区画整理事業 事業完了 民間建築物の整備完了・供用開始	住宅都市局
椿町線街路事業の推進	名古屋駅とささしまライブ24地区を接続することにより、名古屋駅周辺地区の交通環境の改善をはかるとともに、地域の利便性の向上などを促進	用地買収 道路整備	供用開始	住宅都市局
名古屋駅周辺地下公共空間の整備推進	名古屋駅地区からささしまライブ24地区や名駅南地区への歩行者のアクセス改善をはかり、各地区の一層の開発を誘導促進するまちづくり施策の一環として、新たな地下歩行者空間の整備を推進	詳細設計 PFI事業者公募準備	供用開始	住宅都市局

2 中部国際空港の利用促進および機能強化の推進

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
空港の利用促進	航空路線網の充実をはかり、空港機能の強化（完全24時間化）の実現を推進するため、関係団体とともに、空港の利用促進や航空会社へのエアポートセールスなど、空港の需要拡大に向けた取り組みを実施	実施 中部国際空港の国際線旅客便就航都市 27都市	実施 中部国際空港の国際線旅客便就航都市 30都市	総務局

3 名古屋港の整備促進

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
名古屋港の整備促進	コンテナ貨物をはじめバルク貨物や完成自動車を取り扱う総合港湾である名古屋港において、中部地方整備局および名古屋港管理組合が行う港湾整備を促進	整備促進	整備促進	住宅都市局

4 広域交通ネットワークの早期形成

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
名古屋高速道路の利便性の向上	名古屋高速道路において広域交通ネットワークとの連携強化をはじめとするさらなる利便性の向上をはかるため、名古屋環状2号線との連絡路の整備や環境への配慮を含めた適正な維持管理などを実施	名古屋高速道路の全線開通	名古屋環状2号線西南部・南部の整備にあわせた連絡路の整備	住宅都市局
名古屋環状2号線の整備促進	名古屋市外周部に位置する名古屋環状2号線（延長約66km）について、整備促進の要望活動と関係機関との調整を実施	整備促進	整備促進	住宅都市局

守山スマートインターチェンジの整備推進	広域ネットワークへのアクセス性を向上させるため、東名高速道路守山パーキングエリアに接続するETC 専用インターチェンジの整備を推進	整備中	供用開始	住宅都市局
---------------------	---	-----	------	-------

施策33

国際的に開かれたまちづくりをすすめます

めざす姿

国際的な交流・貢献活動が活発に行われ、多文化共生のまちづくりがすすんでいる

現状と課題

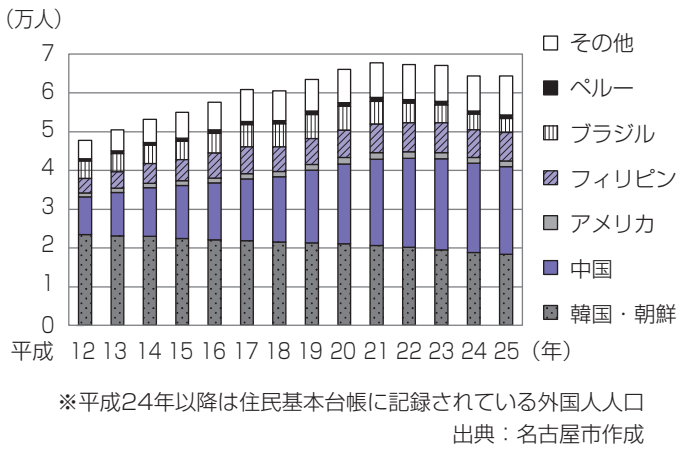
現 状

- ・グローバル化が進展する中、外国人の定住化がすすみ、本市の平成26年4月現在の外国人人口は約6万4千人、総人口に占める割合は約2.8%となっています。また、市内の大学に在籍する留学生数は平成25年5月現在で3,518人となっています。
- ・都市整備、上下水道などさまざまな分野の技術の蓄積を生かし、開発途上国からの研修生受け入れや職員の海外派遣を通じての技術支援など、国際的な貢献活動を行っています。

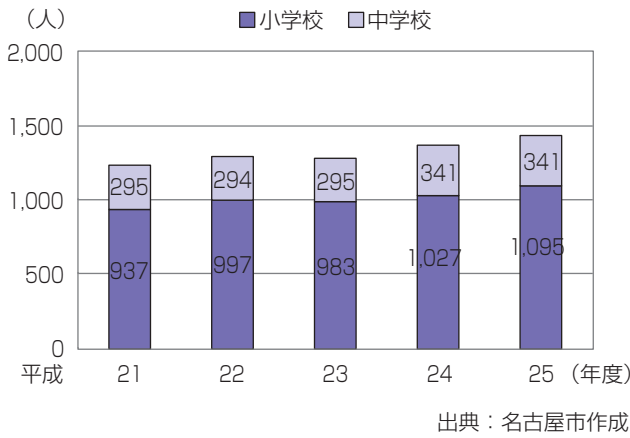
課 題

- ・諸外国との間で、経済・文化・学術・スポーツ・デザインなど幅広い分野で多様な人々が交流することにより、市民の国際感覚を醸成し、相互理解を深めていく必要があります。
- ・日本人市民と外国人市民との交流をすすめ、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともにしあわせに生きていくことができる社会の実現が求められています。
- ・環境保全や基盤整備などの分野において技術力やノウハウの提供を通じて技術移転や人材育成を推進することにより、国際社会へ貢献することが求められています。

●市内の外国人人口の推移



●日本語指導が必要な児童生徒数の推移



施策の展開

1 国際交流の推進

姉妹友好都市や各分野において提携する都市をはじめとした諸外国との交流を推進し、市民の国際感覚の醸成をはかります。

2 多文化共生の推進

外国人市民への情報提供サービスの充実や日本人市民と外国人市民の交流を促進し、外国人市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくりを推進します。また、外国人児童・生徒に対し、日本語教育・相談の充実や円滑な就学の促進などをはかるとともに、日本の学校に早期に適応できるよう支援を行います。さらに、外国語や外国の文化にふれる機会を拡充するなど、互いの文化や考え方を尊重する気持ちを育成します。

3 国際貢献の推進

外国人留学生に対して支援を行い、誘致につなげます。また、JICA（国際協力機構）を通じた研修生の受け入れや技術指導・助言を行う職員の海外派遣などにより、国際貢献を推進します。

成果指標

	指 標	現状値	目標値 30年度	目標値 40年度
1	地域で国籍の異なる人と交流がある市民の割合	30.4% (25年度)	40%	40%
2	外国人留学生数	3,518人 (25年度)	5,900人	5,900人

関連する個別計画

- ◆多文化共生推進プラン

施策を推進する事業

1 国際交流の推進

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
姉妹友好都市交流の推進	姉妹友好都市との交流をすすめるため、姉妹友好都市からの使節団の受入やロサンゼルス交歓高校生の派遣・受入、姉妹友好都市提携周年記念事業などを実施	実施	実施	市長室
市立大学における国連インターンシップ派遣	国際分野に有為な人材を育成するため、イタリア・ローマにある国連食糧農業機関の水産局および国際植物防疫条約事務局へそれぞれインターンシップ生として学生を派遣	実施	実施	総務局

2 多文化共生の推進

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
多文化共生施策の推進	多文化共生社会の実現のため、多文化共生推進プランおよび実施計画に基づき、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の地域社会づくりを総合的に推進	実施	実施	市長室
名古屋国際センターの運営	地域の国際化および多文化共生のまちづくりを推進するため、名古屋国際センターにおいて情報提供、各種相談、講座・研修などを実施するとともに、NPOやボランティアなどの活動を支援	実施	実施	市長室

日本語指導が必要な児童・生徒の支援	日本語指導が必要な児童・生徒の早期の学校生活への適応をはかるため、学校に日本語指導講師や母語学習協力員を配置するとともに、日本語教育相談センター、初期日本語集中教室や日本語通級指導教室を運営	実施	実施	教育委員会
-------------------	---	----	----	-------

3 国際貢献の推進

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
留学生の支援	留学生を支援し、誘致につなげるため、国際留学生会館の運営を支援するとともに、なごや留学生フレンドシップ事業を実施	実施	実施	市長室
市立大学における留学生受け入れの推進	より多くの留学生を受け入れることを可能とするため、大学院の秋入学を実施	検討	実施	総務局
JICAを通じた国際協力	国からの要請を受け、JICAを通して研修生を受け入れるとともに、技術指導・助言を行う職員を派遣	実施	実施	環境局 上下水道局 交通局

施策34

若い世代が学び、遊び、働けるまちをつくります

めざす姿

若者が「学び、遊び、働く」場があり、いきいきと活動している

現状と課題

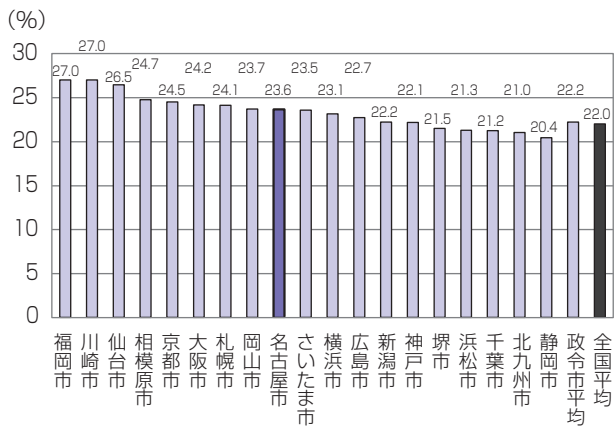
現 状

- ・本市において、15歳から34歳までの年齢層が全人口に占める比率は、平成22年には23.6%となっており、全国平均の22.0%と比べると高い比率ですが、政令指定都市の中では中間に位置しています。
- ・今後、少子化の進行や都市間競争の激化、若者の他地域への流出などによる、経済規模の縮小や都市活力・魅力の低下が懸念されます。
- ・平成25年の本市における大学および短期大学の学生数は98,955人と政令指定都市中第2位となっています。大学および短期大学は24校、専修学校は118校あり、全国でも大学・学生の多い都市となっています。

課 題

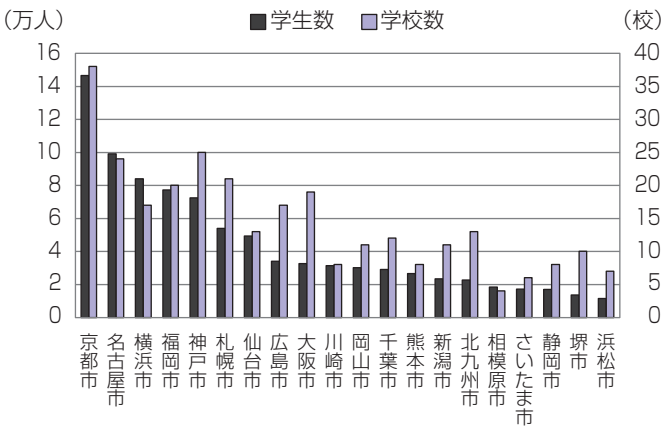
- ・若者の自由な発想に基づく、地域イベントやボランティアなどの企画・運営を通じて、地域や企業、行政などと連携し、社会参画をする仕組みづくりが必要です。
- ・大学による学生に対する充実した教育・研究機会の提供をはじめとし、若者が社会との関わりを通じて活躍できる機会の確保をはかるなど、学び、働くことに加え、住み続けられる場所として、若者に選ばれるまちになることが必要です。
- ・大学には、これまで担ってきた教育・研究機関としての役割に加え、成果を広く社会に提供することにより、社会貢献を果たしていくことが期待されています。
- ・医・薬・看護の医療系3学部を有する国内唯一の公立大学である名古屋市立大学は、市民および地域への教育研究成果の環流を通じて、本市の行政課題の解決をはじめとする地域社会の発展に寄与することが求められています。

●15歳～34歳の人口が全人口に占める比率
(政令指定都市比較)



出典：総務省「国勢調査」(平成22年)

●大学および短期大学の学生数と大学および短期大学数
(政令指定都市比較)



出典：文部科学省「学校基本調査」(平成25年)

施策の展開

1 若者の活力による魅力あふれるまちづくり

若い世代の豊かな感性から生み出される発想力や行動力を活用して、地域の特色や歴史文化を生かした地域活性化や文化振興をはかり、魅力的なまちづくりをすすめます。また、若者と地域の交流を深め、若者が自発的・主体的に活動を行えるよう支援します。

2 大学と地域の連携によるまちづくり

大学と行政との交流を推進するとともに、大学の知的資源を広く環流させることで、大学と行政、大学と地域との連携による課題解決を推進します。とりわけ、名古屋市立大学については、生涯学習の幅広い展開による市民への身近な学びの場の提供、行政との協働的な関係の構築や地域と交流・連携したまちづくり活動を行うなど、我がまちナゴヤの大学と実感できるよう魅力ある地域社会づくりに寄与していきます。

3 次世代を担う産業人材の育成・確保

子どもや若者がものづくりの楽しさや科学の面白さを体験できる機会を増やすとともに、大学や産業界と連携し、産業界のニーズにあった教育・人材育成を行うことで、次世代を担う産業人材の確保をはかります。

成果指標

	指 標	現状値	目標値 30年度	目標値 40年度
1	若い世代が「①訪れたい」「②暮らしたい」と思う魅力的なまちだと感じる若者の割合	①56.8% ②74.3% (25年度)	①65% ②80%	①80% ②90%
2	18～30歳人口の社会増減数	7,478人 (25年度)	5,500人	5,200人
3	市内にある大学の学生のうち出身が東海3県外である割合	14% (25年度)	18%	30%

関連する個別計画

- ◆公立大学法人名古屋市立大学第二期中期目標

施策を推進する事業

1 若者の活力による魅力あふれるまちづくり

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
ナゴ校による学生タウンなごやの推進	まちの魅力と活力を高めるため、学生と社会との連携・協働をはかるNAGOYA学生キャンパス「ナゴ校」を通じて、学生がいいきと活動するまち、学生タウンなごやを推進	「ナゴ校」の活動支援	「ナゴ校」の活動支援	総務局
ナゴヤまちかどアンサンブル	文化の薫りあるにぎやかなまちをつくるとともに若い音楽家の育成を支援するため、学生にさまざまな場所での演奏機会を設ける「ナゴヤまちかどアンサンブル」を実施	実施 12会場 60公演	実施	市民経済局

2 大学と地域の連携によるまちづくり

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
大学連携の推進	大学の持つ知的資源を広くまちづくりなどに活かすため、地域との連携をすすめる大学と連携・協働し、民間やNPOなど多様な主体とも情報共有・情報発信できる環境と仕組みを整備	大学連携のあり方についての検討	大学連携のあり方についての検討 大学との連携・協働スキームの検討・運用	総務局
学生タウンなごやのブランドイメージの創出	この地域に広く全国から学生が集まるよう大学と連携し、学生にとって魅力あるまちのブランドイメージを創出	－	検討・実施	総務局
子ども青少年「すこやかなごや」ひとづくり・まちづくり事業	市立大学において、「子育て世代に選ばれるまちづくりによる地域の活力向上」をテーマに、行政・地域との連携のもと、地域課題を理解し、解決に向けて行動できる人材を育成	行政・地域などと連携した人材育成の実施 教育組織改革・カリキュラム改訂に着手	行政・地域などと連携した人材育成の取り組みの拡充 新カリキュラムの開始	総務局

市民への生涯学習機会の提供	市立大学が、若者を含め幅広い世代の市民に教育研究成果を還元するため、高等教育機関としての特性を活かした学びなおし講座などの公開講座を実施	実施	実施	総務局
---------------	--	----	----	-----

3 次世代を担う産業人材の育成・確保

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
市立大学と名古屋工業大学との連携による人材の育成	大学院課程において高度な専門性と複数の学問分野からの視点を備えた人材を育成するため、単位互換制度の実施や薬学研究科における共同大学院を設置	単位互換制度の実施 共同大学院の設置	単位互換制度の拡充 実施	総務局
この道ひとすじ「尾張名古屋の職人展」の開催	ものづくりの素晴らしさを伝えとともに、技能職者相互の連帯を深め、技術水準・社会的地位の向上をはかることにより、次世代を担う産業人材の確保に資するため、関係団体とともに、「尾張名古屋の職人展」を開催	実施	実施	市民経済局
ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業	ものづくり産業の人材確保、技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化と技術系人材の育成のため、中小企業技術者研修および中小企業技能者育成講座を実施	実施 中小企業技術者研修数 10件 中小企業技能者育成講座数 3件	実施 中小企業技術者研修数 年間10件 中小企業技能者育成講座数 年間3件	市民経済局
少年少女発明クラブの運営	ものづくり産業の人材育成の契機とするため、小・中学生を対象にものづくり教室など創作活動の場を提供する「名古屋少年少女発明クラブ」を運営し、ロボカップジュニアへの参加、ものづくりチャレンジ教室を実施	実施 ものづくり教室開催数 3件 ロボカップジュニアへの参加 ものづくりチャレンジ教室数 4件	実施 ものづくり教室開催数 年間3件 ロボカップジュニアへの参加 ものづくりチャレンジ教室数 年間4件	市民経済局

キャリア教育の 推進	子どもの針路を応援し、社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育て、自分らしい生き方を実現していく子どもを育てるため、小中学校9年間を通した系統的なカリキュラムを策定し、モデル校において実践・検証を実施するとともに、高等学校においては、大学・企業との連携促進や就業体験学習を充実	検討	カリキュラム策定・実践	教育委員会
		高校と大学・企業との連携	高校と大学・企業との連携促進	
		高校就業体験学習の実施	高校就業体験学習の充実	
		特別支援学校産業科での就労支援の実施	特別支援学校産業科での就労支援の実施	

施策35

歴史・文化に根ざした魅力を大切にします

めざす姿

歴史・文化が大切にされ、魅力向上に活かされている

現状と課題

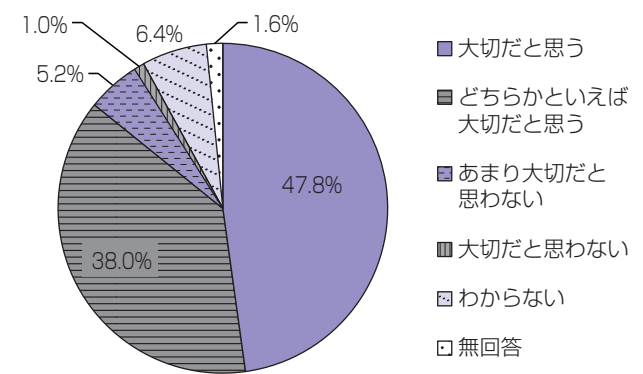
現 状

- ・文化は、人々の暮らしにうるおいを与え、豊かな感性を育むとともに、新たな創造を生み出す力を持っており、都市の魅力を向上させる大きな役割を担っています。
- ・本市では、文化や芸術にふれることについて大切だと思う市民は8割を超えるものの、名古屋を文化的なまちだと思う市民は4割程度にとどまっています。
- ・本市は、長い歴史を積み重ねてきたまちであるものの、戦災や市街地の開発などにより、歴史的資産が減少し、身近にまちの歴史が感じられにくくなっています。

課 題

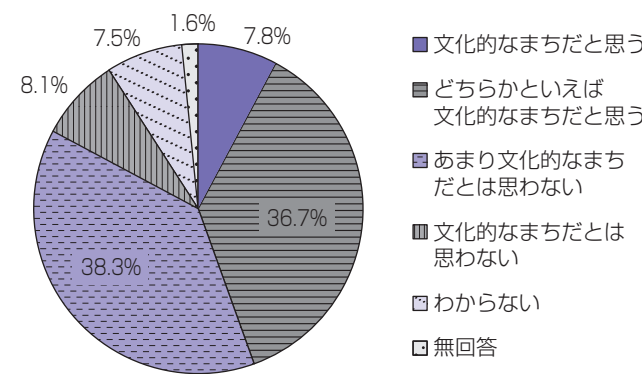
- ・都市間競争を勝ち抜くため、独自の魅力や文化を活かし、都市の創造力を高めることが重要です。
- ・まちの至るところで歴史や文化にふれ、感性が刺激される場を創出していくことが必要です。
- ・歴史・文化に根ざした魅力を磨きあげ、市民一人ひとりが名古屋独自の魅力に自信と誇りを持てるようにすることが必要です。

●文化や芸術に触れることを大切だと思う市民の割合



出典：市政アンケート（平成24年度）

●名古屋を文化的なまちだと思う市民の割合



出典：市政アンケート（平成24年度）

施策の展開

1 文化振興による豊かな感性の育成

地域文化の一層の振興や文化による交流事業の推進により、市民文化と質の高い芸術文化の振興をはかり、市民の豊かな感性を育みます。また、未来を担う若手の育成など、将来を見据えた文化への投資を行い、都市の創造力の向上をはかります。

2 歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

名古屋の歴史・文化を身近に感じられるよう、名古屋城などの武家文化や文化のみち、有松をはじめとした市内の歴史的建造物や町並み、文化財、人々の伝統的な営みの保存・活用をすすめます。

成果指標

	指 標	現状値	目標値 30年度	目標値 40年度
1	名古屋独自の魅力や文化で自信を持って紹介できるものがある市民の割合	70.9% (25年度)	75%	80%
2	市の文化施設の利用率	84.9% (25年度)	85%	88%
3	歴史的建造物の登録・認定件数（累計）	187件 (25年度)	250件	300件

関連する個別計画

- ◆文化振興計画 ◆歴史まちづくり戦略 ◆歴史的風致維持向上計画 ◆歴史の里基本計画

施策を推進する事業

1 文化振興による豊かな感性の育成

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
文化事業のまち かど展開	豊かな心と感性を育み、まち の魅力づくりやにぎわいを創 出するため、市民がまちかど で文化芸術に気軽にふれる機 会を充実	やっとかめ文化祭 の実施	やっとかめ文化祭 の実施 伝統芸能の公演 やまちなか披露 など 子どもまちかど文 化プロジェクトの 実施 アーティストに よる屋内外での ワークショップ や体験事業など	市民経 済局
名古屋フィルハ ーモニー交響楽 団の活動支援	交響管弦楽による音楽芸術の 普及向上をはかり、文化の発 展に寄与するため、名古屋フ ィルハーモニー交響楽団によ る演奏活動を支援	実施 演奏事業 117回 まちかどコンサ ート 23回	実施 演奏事業 年間120回 まちかどコンサ ート 年間20回 創立50周年記 念事業	市民経 済局
ショートストー リーなごや	名古屋の魅力と文化力の向上 をはかるため、名古屋を舞台 とするショートストーリーを 募集し、優秀作品を作品集や 映像として全国に発信	実施	実施	市民経 済局

あいちトリエン ナーレの開催	愛知・名古屋から新たな文化 芸術を発信し、地域の文化芸 術の活性化と魅力向上をはか るため、現代美術の国際展あ いちトリエンナーレを3年ご とに開催	あいちトリエンナ ーレ2013の開催	あいちトリエンナ ーレ2016の開催 あいちトリエンナ ーレ2019の開催 準備	市民経 済局
文化小劇場の整備	市民の身近な場所における文 化活動の場を提供するため、 音楽・演劇・舞踊などの発 表・練習のできる拠点として、 本格的な舞台公演にも対応で きる文化小劇場を新規整備	瑞穂文化小劇場 建設工事着工 昭和 cultura 小劇場 実施設計完了	瑞穂文化小劇場 開館 昭和 cultura 小劇場 開館	市民経 済局
公会堂の改修	圏域の活力向上につなげるた め、文化施設のあり方検討お よび公会堂改修基本調査の結 果をふまえた公会堂の改修を 実施	改修案の検討	改修の実施	市民経 済局
美術館の運営	美術文化の継承・発展をはか り、市民が美術文化にふれる 機会を提供するため、美術館 において常設展・特別展など を実施するとともに国内外美 術館との所蔵品貸し出しなど を推進	実施 ランス美術館と の友好提携に関 する覚書の締結	実施 ランス美術館と の特別展の開催	教育委 員会

2 歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

事業名	事業概要	現況 (25時点の状況)	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
名古屋まつりの 開催	まつりを通じて、名古屋の伝 統、文化、魅力にふれてもら うことを目的として、郷土英 傑行列をはじめとした行列行 事・会場行事を実施	実施	実施	総務局

名古屋城の整備	名古屋城の歴史的価値を後世に伝えるため、戦災により焼失した本丸御殿を史実に忠実に復元するほか、県内唯一の名勝庭園である名古屋城二之丸庭園の保存整備、展示収蔵施設の整備、天守閣の整備に関する検討調査等を実施	本丸御殿 復元工事の実施 玄関・表書院の公開 二之丸庭園 発掘調査・測量 保存整備工事 絵図等史資料詳細検証 展示収蔵施設 整備構想策定 天守閣 整備に関する課題調査	本丸御殿 復元工事の実施 対面所等の公開 上洛殿等の公開 二之丸庭園 発掘調査・測量 保存整備工事 展示収蔵施設 発掘等調査、設計等 天守閣 整備に関する検討調査等	市民経済局
昔の町並み等の写真を掲載した銘板の設置	市民が地域の歴史・文化にふれることができる機会を提供し、地域への愛着を育むとともに、地域の魅力向上をはかるため、市内各所に昔の町並みなどの写真を掲載した銘板を設置	設置 11区計18か所	設置 〔100か所程度〕	市民経済局
「文化のみち」の推進	積極的に名古屋の魅力を情報発信するため、名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫である「文化のみち」の歴史的建造物の保存や歴史的建造物を活用したイベントなどを実施	文化のみち施設の活用・管理 「歩こう！文化のみち」PRイベントの実施	文化のみち施設の活用・管理 PRイベントの実施	住宅都市局

揚輝荘の保存・活用	城山・覚王山地区のまちづくりの交流拠点施設として活用するため、市民共有の歴史・文化資産である揚輝荘の修復整備を実施	南園 聴松閣の公開 揚輝荘座敷の詳細調査 北園 暫定公開	南園 揚輝荘座敷・庭園の修復整備工事着手 北園 暫定公開 建物・庭園の調査設計	住宅都市局
歴史的町並み保存事業の推進	市内に残る歴史的な町並みを保存するため、町並み保存地区において、指導・助言および補助を実施するとともに、有松町並み保存地区については、町並みを守る新たなルールとして、伝統的建造物群保存地区の指定と地区計画の区域を拡大	指導・助言および補助の実施 補助件数 累計369件 啓発イベントなどの実施	指導・助言および補助の実施 補助件数 累計419件 啓発イベントなどの実施 伝統的建造物群保存地区の指定	住宅都市局
歴史まちづくり事業の推進	歴史まちづくりの基本方針である歴史まちづくり戦略および歴史的風致維持向上計画に基づき、本町通および熱田界隈などにおいて歴史まちづくり事業を推進	旧魚問屋モニユメントの実施設計 尾張名所図会看板の設置 累計2基 スマートフォンによる情報発信 アプリの制作・活用	旧魚問屋モニユメントの整備 本町城下町歴史案内板などの整備 尾張名所図会看板の設置 累計12基 スマートフォンによる情報発信 提供情報地域の拡大・イベント実施	住宅都市局

歴史的建造物の 保存活用の推進	身近な歴史的建造物の保存活用を推進するため、身近な歴史的建造物の登録・認定制度の運用や、歴史的資産を活かしたまちづくりへの啓発活動、経済的支援およびなごや歴まちびとによる技術的支援を実施	実施 登録・認定制度 の運用 累計187件	実施 登録・認定制度 の運用 累計250件	住宅都 市局
歴史の里の整備	守山区上志段味に残る古墳群を活用し、古代の営みなどの体験を通じて、子どもから大人まで楽しみながら歴史を学べる「歴史の里」の整備を推進	基本計画の策定	整備・供用	教育委 員会
博物館、秀吉清 正記念館の運営	歴史・文化に対する興味・関心を深め、市民に名古屋市独自の魅力を伝える機会を提供するため、博物館および秀吉清正記念館において、常設展・特別展等を実施	実施	実施	教育委 員会
博物館の魅力向上	開館から36年経過した博物館が、市民のニーズに応えこれからも魅力的な施設であり続けるため、新しい博物館のあり方と施設整備を検討	庁内検討・市民意識調査の実施	整備検討	教育委 員会
秀吉研究の推進	市民の郷土愛の定着に資するため、博物館と秀吉清正記念館で名古屋出身の武将豊臣秀吉の文書集（全8巻）を刊行することで、豊臣秀吉の研究を推進	刊行準備 第1巻	刊行 〔第1巻～第3巻〕	教育委 員会

文化財保護事業	文化財の指定や文化財保存修理事業への補助金交付、埋蔵文化財の発掘調査などを実施	実施 文化財新規指定 2件 保存修理事業等 補助 33件	実施	教育委 員会
山車行事継承事業の支援	山車を使った祭りを後世に継承するため、無形民俗文化財に指定している山車行事と山車に対し支援	山車の保存・修理 に対する支援	山車行事の継承や 山車の保存・修理 に対する支援	教育委 員会

施策36

港・水辺の魅力向上をはかります

めざす姿

港・水辺が市民や訪れた人にとって魅力的で、にぎわいのある空間となっている

現状と課題

現 状

- ・金城ふ頭では、モノづくり文化交流拠点構想を背景に民間の開発提案を活かして、産業技術の発信・継承などをテーマに人々が交流する拠点づくりを推進しています。
- ・ガーデンふ頭では、「親しまれる港づくり」を展開し、海洋文化・交流施設や緑地の整備、イベントの開催や客船等の寄港の誘致など、港らしさが感じられる空間づくりを推進しています。
- ・河川が整備され、水辺でイベントが行われるなど、市民が水に親しむ機会が増加しています。
- ・中川運河では、平成24年10月に「中川運河再生計画」を策定し、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河の再生を推進しています。

課 題

- ・金城ふ頭については、すでに整備されている施設を活かしながら、金城ふ頭におけるモノづくり文化交流拠点構想の推進など、交流空間を拡充する必要があります。
- ・ガーデンふ頭については、水族館をはじめとするさまざまな施設の活用等により、回遊性の向上をはかり、にぎわいを創出する必要があります。
- ・市民がより水に親しむことのできる環境を創出するため、水質の浄化など水辺環境のさらなる改善が必要となっています。
- ・中川運河については、モノづくりの発展を下支えしてきた歴史的役割を尊重しながら、交流・創造の場の創出や水上交通の活性化、良好な水環境の創出などの取り組みにより再生をはかっていく必要があります。

●金城ふ頭



●堀川



●中川運河



施策の展開

1 魅力向上に向けた拠点整備

金城ふ頭では、良好な交通アクセスを活用し、物流機能とのバランスをとりつつ、国際展示場の再整備によるコンベンション機能の強化やアミューズメント施設など都市機能の誘導を一体的にすすめるとともに、域内の回遊性を高め、広域からも来訪者が訪れるようににぎわいと魅力のある新しい名古屋の名所づくりをめざします。

ガーデンふ頭では、水族館などの既存施設を活かしながら、緑地、倉庫などを含むふ頭全体の再整備をすすめることにより、隣接する地区のまちづくりとあわせて、港まちの魅力とにぎわいを生み出します。

2 水辺のにぎわい

水辺空間に親しむ機会を増やすため、堀川において市民団体との協働による水質浄化の取り組みにより、良好な水辺環境の形成をはかるとともに、オープンカフェやイベントを実施するなど、水辺空間を利活用することでにぎわいづくりをすすめます。

3 運河の再生

中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、緑地・プロムナードの設置、水循環の促進による水質の改善などととともに、運河を舞台とする市民活動を通じた市民・企業等との連携により、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河へと再生をはかります。また、堀川や名古屋港等と連携した新たな水上交通網の実現をめざします。

成果指標

	指 標	現状値	目標値 30年度	目標値 40年度
1	ガーデンふ頭、金城ふ頭の施設等来場者数の合計	691万人 (25年度)	1,000万人	1,400万人
2	名古屋の港や臨海部が魅力的な空間であると感じる市民の割合	39.5% (25年度)	50%	70%
3	中川運河の再生をサポートする人々（運河びと）の認定数	132人 (25年度)	400人	1,000人

関連する個別計画

- ◆都市計画マスタープラン ◆中川運河再生計画 ◆築地ポータウン計画

施策を推進する事業

1 魅力向上に向けた拠点整備

事業名	事業概要	現況 〔25時点の状況〕	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
金城ふ頭開発	テーマパークを核とする民間開発にあわせ、金城ふ頭における交流拠点形成を推進	レゴランドの施設設計、環境影響評価手続 都市基盤施設の設計	レゴランドの工事着手、開業 都市基盤施設の工事着手、供用開始	住宅都市局
ガーデンふ頭の再整備	既存施設を活かしながらガーデンふ頭全体の再整備をすすめる、隣接地区と一体となった港らしさが感じられるまちづくりを名古屋港管理組合とともに推進	築地ポートタウン計画の見直し 跳上橋の修景整備 コミュニティ道路の整備	築地ポートタウン計画の見直し、推進 跳上橋の修景整備完了 コミュニティ道路の整備完了	住宅都市局

2 水辺のにぎわい

事業名	事業概要	現況 〔25時点の状況〕	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
うるおいと活力のある堀川再生	水辺空間に親しむ機会を増やすため、民産学官の協働により、河川空間を利活用することでのにぎわいづくりをすすめるとともに、水質浄化をすすめるため良好な水辺環境の形成を推進	堀川の市民連携イベント来場者数 年間17,000人 堀川1000人調査隊の隊員数 50,600人 維持流量の確保 浅層地下水導入 5か所	堀川の市民連携イベント来場者数 年間22,000人 堀川1000人調査隊の隊員数 65,000人 維持流量の確保 浅層地下水導入 10か所	緑政土木局

3 運河の再生

事業名	事業概要	現況 〔25時点の状況〕	計画目標 〔26～30の事業量等〕	所管局
中川運河の再生	沿岸用地へのにぎわい施設の誘導、堀止における緑地の整備、水質の改善、災害に対する防災機能の強化、市民活動への支援などにより、中川運河の再生を推進	にぎわい施設の誘導について、先導的取り組みの実施 堀止緑地の整備促進 水質改善の検討 荒子川運河の護岸改修等の検討	にぎわい施設の誘導の実施 堀止緑地の整備完了 水質改善の検討・実施 荒子川運河の護岸改修等の検討・着手	住宅都市局
水上交通の活性化	熱田、名古屋城やささしまライブ24地区などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現と、熱田と桑名を結ぶ旧東海道唯一の海路である七里の渡しの復活をはかるため、中川運河、堀川と名古屋港などを連絡する水上交通を推進	水上交通網推進プラットフォームによる検討 体験乗船の実施 名古屋港の定期運航（一定の航路でダイヤを定めて行う運航）の実施 不定期運航（一定の航路でダイヤを定めずに行う運航）の実施	水上交通網推進プラットフォームによる検討 体験乗船の実施 新たな航路での定期運行の実施 不定期運航の充実	住宅都市局